

令和7年度

教育委員会定例会  
(9月)

令和7年9月12日(金)

鹿屋市教育委員会

# 会 議 日 程

日 時 令和7年9月12日（金） 午後4時  
場 所 教育長室

## 1 開 会

## 2 前回議事録の承認

## 3 教育長及び委員の報告

## 4 議 事

- (1) 議案第9号 令和7年度鹿屋市一般会計補正予算（第3号）について (P 2)
- (2) 議案第10号 鹿屋市立学校設置条例の一部改正について (P 4)

## 5 報 告

- (1) 鹿屋市就学援助費支給要領の一部改正について (P10)
- (2) 鹿屋市小・中学校英語弁論大会について (P12)
- (3) 不登校児童生徒支援フォーラムについて (P13)
- (4) 第13回キッズチャレンジフェスタの実施について (P14)
- (5) 鹿児島県ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会について (P17)
- (6) 第7回鹿屋市高校生ビブリオバトル大会実施について (P18)
- (7) 鹿屋市自主文化事業「トリックアート展」について (P19)
- (8) 第3回大隅平面アート展（共催事業）について (P20)
- (9) 平和祈念コンサート（共催事業）について (P21)
- (10) 文化財ウォッチングについて (P22)

## 6 動議の討論等

## 7 その他（お知らせ）

- ・市内小・中学校及び鹿屋女子高校の運動会・体育大会の日程について
- ・家庭教育講演会について
- ・トリックアート展について
- ・かのやふるさと検定（講座、検定日）について
- ・キーウ・クラシック・バレエについて

## 8 閉 会

議案第9号

令和7年度鹿屋市一般会計補正予算（第3号）について

鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則(平成18年鹿屋市教育委員会規則第2号)第10条の規定に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

令和7年9月12日提出

鹿屋市教育委員会  
教育長 中野 健作

(別 紙)

(提案理由)

令和7年度鹿屋市一般会計補正予算（第3号）のうち教育委員会の所管に係る分について、本案を提出するものである。

令和7年度9月補正予算（案）の概要

【教育総務課】

歳 出		歳 入
<b>1 中学校学校図書館用（図書備品）購入経費</b>		
補正額 1,100千円		1 教育費寄附金 補正額 2,000千円
<p>(1) 補正理由 寄附金を活用して市内中学校の図書館用図書を購入し、生徒の健全な教養の育成、学校図書館の整備充実を図るもの</p> <p>(2) 内容 鹿屋市内の全12中学校の図書備品購入経費の増額</p>		<p>(1) 補正理由 市内企業から寄附があったことによる増額補正 ※ 図書備品購入経費1,100千円に充当後の残額900千円は、基金積立を行い、来年度予算に充当予定</p>
<b>2 鹿屋女子高タブレット端末更新事業</b>		
補正額 15,889千円		
<p>(1) 補正理由 生徒が安心して学校及び自宅での学習にタブレット型端末を活用できるようタブレット端末の更新を行うもの</p> <p>(2) 内容 ・更新台数：200台 ・貸与対象：令和8年度新入学生</p>		財源：一般財源

【学校教育課】

歳 出		歳 入
<b>1 特別支援学校給食費負担軽減事業</b>		
補正額 1,052千円		
<p>(1) 補正理由 本市に住所を有し、特別支援学校(小学部・中学部)に在籍している児童生徒の保護者が、実際に支払った学校給食費に対して助成金を交付するもの</p> <p>(2) 内容 開始時期：令和7年10月から</p>		財源：ふるさと鹿屋応援基金繰入金

議案第10号

鹿屋市立学校設置条例の一部改正について

鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年鹿屋市教育委員会規則第2号）第10条の規定に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

令和7年9月12日提出

鹿屋市教育委員会  
教育長 中野 健作

（別 紙）

（提案理由）

鹿屋市立鶴峰小学校の統廃合を実施するため、所要の規定の整備を行いたいので、本案を提出するものである。

## 鹿屋市立学校設置条例の一部を改正する条例

鹿屋市立学校設置条例（平成18年鹿屋市条例第185号）の一部を次のように改正する。

別表第1項中 「

鹿屋市立鶴峰小学校	鹿屋市吾平町上名3594番地
-----------	----------------

」を削る。

### 附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。

鹿屋市立学校設置条例の一部を改正する条例 新旧対照表

改正後	改正前																											
○鹿屋市立学校設置条例  鹿屋市立学校設置条例  平成18年 1 月 1 日条例第185号	○鹿屋市立学校設置条例  鹿屋市立学校設置条例  平成18年 1 月 1 日条例第185号																											
別表（第 1 条関係） 1 小学校	別表（第 1 条関係） 1 小学校																											
<table><tr><th>名称</th><th>位置</th><th>備考</th></tr><tr><td colspan="3">中略</td></tr><tr><td>鹿屋市立吾平小学校</td><td>鹿屋市吾平町麓3630番地</td><td></td></tr><tr><td>鹿屋市立下名小学校</td><td>鹿屋市吾平町下名3062番地</td><td></td></tr></table>	名称	位置	備考	中略			鹿屋市立吾平小学校	鹿屋市吾平町麓3630番地		鹿屋市立下名小学校	鹿屋市吾平町下名3062番地		<table><tr><th>名称</th><th>位置</th><th>備考</th></tr><tr><td colspan="3">中略</td></tr><tr><td>鹿屋市立吾平小学校</td><td>鹿屋市吾平町麓3630番地</td><td></td></tr><tr><td>鹿屋市立鶴峰小学校</td><td>鹿屋市吾平町上名3594番地</td><td></td></tr><tr><td>鹿屋市立下名小学校</td><td>鹿屋市吾平町下名3062番地</td><td></td></tr></table>	名称	位置	備考	中略			鹿屋市立吾平小学校	鹿屋市吾平町麓3630番地		鹿屋市立鶴峰小学校	鹿屋市吾平町上名3594番地		鹿屋市立下名小学校	鹿屋市吾平町下名3062番地	
名称	位置	備考																										
中略																												
鹿屋市立吾平小学校	鹿屋市吾平町麓3630番地																											
鹿屋市立下名小学校	鹿屋市吾平町下名3062番地																											
名称	位置	備考																										
中略																												
鹿屋市立吾平小学校	鹿屋市吾平町麓3630番地																											
鹿屋市立鶴峰小学校	鹿屋市吾平町上名3594番地																											
鹿屋市立下名小学校	鹿屋市吾平町下名3062番地																											
以下略	以下略																											

## 鹿屋市立学校設置条例の一部改正について

(教育総務課)

### 1 学校再編の背景

- ・ 社会情勢の変化や児童生徒数の減少などを背景とした本市教育の諸課題に適切に対応するため、平成20年に「鹿屋市学校規模適正化（学校再編）基本方針」を策定。
- ・ 平成23年から令和2年までの間に輝北・吾平・花岡・大始良・高須地区の11小学校、4中学校を統合。
- ・ 令和5年度に基本方針の改定に伴う意見交換会を全ての小中学校を対象に実施し、鶴峰小学校においては、完全複式学級が続いており、今後も解消する見込みがない状況を踏まえ、保護者から学校統合に対する前向きな意見が出された。
- ・ 令和5年度の意見交換会后、多くの保護者から学校再編の検討を進めたいとの意見があったことから、保護者や地域住民との意見交換や情報提供などの協議を重ねた。
- ・ 協議の結果、再編することに対する理解が得られたため、学校再編に向けて具体的な協議を進めた。
- ・ 令和8年4月1日に鶴峰小学校を吾平小学校へ統合

#### ※鶴峰小学校の児童数推移

年度	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
児童数	40	29	29	21	15	17	10	18	9
学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	2

### 2 協議等の状況

時期	内容
R5. 6月27日	学校規模適正化基本方針の改定に伴う意見交換会
9月14日	保護者との意見交換会（学校統合も致し方ないとの意見）
R6. 2月7日～	校区住民との意見交換会
5月30日	保護者との意見交換会（学校統合についての合意形成）
6月26日～	校区住民との意見交換会
7月10日～	校区住民への再編方針（案）の周知（文書配布）
9月6日	鹿屋市議会議員説明会
10月29日	第1回鹿屋市学校規模適正化検討委員会（「学校規模適正化実施計画（鶴峰小）」の策定）
11月14日	第1回鹿屋市地区学校統合推進委員会
11月19日	第1回総務・通学等部会（制服、通学方法、学校跡地、式典等について協議）
11月25日	第1回教育事務部会（備品、公文書等の取扱について協議）
11月29日	第1回教育課程等部会（教育課程、交流事業等について協議）
R7. 3月3日	第2回教育事務部会（協議結果報告書まとめ）
3月5日	第2回教育課程等部会（協議結果報告書まとめ）



3月7日	保護者説明会（スクールバスの運行について）
3月24日	第2回総務・通学等部会（協議結果報告書まとめ）
3月24日	第2回鹿屋市地区学校統合推進委員会（協議結果報告書まとめ）
3月27日	第2回鹿屋市学校規模適正化検討委員会（協議結果の報告）
4月10日	鹿屋市教育委員会定例会（協議結果の報告）
4月14日	鹿屋市議会議員への報告（文書配布）
6月3日	鶴峰小学校閉校記念事業実行委員会設立総会
6月24日	鶴峰校区3町内会との跡地活用に関する協議
7月24日	保護者との意見交換会（スクールバス運行の詳細事項について）
9月1日	保護者との意見交換会（スクールバス運行の詳細事項について）

### 3 協議結果の概要（統合推進委員会）

協議事項	協議結果
制服・ 体育服等	・ 吾平小学校のとおりとする。ただし、両校で使用しているものに 差がないことから、鶴峰小学校の物をそのまま使用しても良い。
通学方法	・ スクールバス運行の詳細について、教育委員会と保護者とで引き 続き協議する。
学校跡地	・ 学校跡地については、地域のまちづくり活動に資する施設として の活用を検討する。 ・ まちづくり活動に資する施設としての活用が見込めない場合は、 鹿屋市において外部団体等への貸付を含めた活用方法を検討す る。
式典等	・ 閉校式典は、令和8年3月1日(日)に教育委員会主催で行う。 ・ 統合式典は、令和8年4月に教育委員会主催で行う。 ・ 閉校記念事業は、鶴峰小学校保護者や地域住民等で組織する実行 委員会にて実施する。
交流事業 (令和7年度)	・ 鶴峰小学校と吾平小学校の児童同士の交流を図るため、令和7年 度の学期毎に交流事業を行う。
教育課程等 (令和8年度 ～)	・ 令和8年度以降の教育課程については、吾平小学校の方針を基本に調 整する。 ・ 鶴峰小学校の特色ある教育活動等で継続して実施する内容は、今後検 討する。
学校備品	・ 令和7年度中に吾平小学校へ移設する備品リストを作成し、令和 7年度末に移設する。 ・ 吾平小学校へ移設しない備品は、他校での使用を照会し、必要で あれば移設する。
公文書等	・ 移設する公文書は、両校の管理職同士で調整する。

#### 4 今後の予定

期日	内容
R7. 10月26日	鶴峰小学校閉校記念運動会
11月	鹿屋市立学校設置条例の一部改正（R7. 12月鹿屋市議会上程）
R8. 1月	鹿児島県教育委員会への届出（廃止届・議会の議決書等）
3月1日	鶴峰小学校閉校記念式典
3月31日	鶴峰小学校閉校
4月7日	吾平小学校・鶴峰小学校統合記念式典
随時	スクールバス運行の詳細事項に係る協議
	跡地活用に関する協議
	閉校記念事業に関する協議

#### 5 条例の一部改正に伴い、関連する一部改正予定の規則等

- 鹿屋市小中学校学校事務支援室運営規程（教育総務課・学校教育課）  
別表「鶴峰小学校」削除
- 鹿屋市立学校の通学区域の指定及び学校の指定変更に関する規則（学校教育課）  
別表1 学校名「鶴峰小学校」を削除し、当該通学区域を「吾平小学校」に追加
- 鹿屋市言語障害、難聴、学習障害等通級指導教室通級費支給要領（学校教育課）  
別表「鶴峰小学校」該当項目を削除し、以下の番号を繰り上げる
- 鹿屋市職員等の旅費支給規則（総務課）  
別表2「◎の区域」の「鶴峰小学校」を「旧鶴峰小学校」に

#### <参考> 令和7年度の学校規模適正化（学校再編）に係る取組状況

##### （1）概要

鹿屋市学校規模適正化（学校再編）基本方針に基づき、本市の現状や規模適正化の基本的な考え方、今後の推移等について、優先して検討を進める学校規模にある学校を対象に意見交換会を開催し、学校規模適正化への推進を図る。

##### （2）優先して検討を進める学校規模にある学校

###### ○小学校

小規模校における完全複式学級（3学級）編制の解消を図ることから、現在、完全複式学級の状況にあり、今後、解消の見込みのない学校

- ①祓川小 R7年度（3学級、34人）→ R12年度（3学級、16人）
- ②南小 R7年度（3学級、21人）→ R12年度（3学級、10人）
- ③高隈小 R7年度（3学級、14人）→ R12年度（1学級、3人）
- ④大黒小 R7年度（3学級、18人）→ R12年度（3学級、27人）

###### ○中学校

クラス替えができない学校規模を解消し、専科教員配置不足等の課題解決を図るため、現在、3クラス以下での学級編制の状況にあり、今後、解消の見込みのない学校

- ①高隈中 R7年度（3学級、26人）→ R12年度（2学級、14人）

##### （3）意見交換会結果

7月 学校及びPTA役員との意見交換会の開催

・祓川小

学校及び保護者（全員）との意見交換会の開催

・南小、高隈小、大黒小、高隈中

# 報告(1) 鹿屋市就学援助費支給要領の一部改正について

(学校教育課)

鹿屋市就学援助費支給要領の一部を改正する規程新旧対照表

改正後	改正前
<p>○鹿屋市就学援助費支給要領 平成 20 年 4 月 1 日制定</p> <p>(申請)</p> <p>第 5 条 就学援助を受けようとする保護者は、就学援助申請書を児童生徒の在学する学校又は鹿屋市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に毎年度提出しなければならない。<u>この場合において、就学援助を受けようとする保護者は、電子情報処理組織（教育委員会の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下同じ。）と申請者の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織をいう。）により、申請することができる。</u></p> <p>2 前項の規定にかかわらず、要保護者のうち生活保護法第 13 条に規定する教育扶助を受けている者については、申請書の提出を省略することができる。</p> <p>3 年度途中において新たに援助が必要となった者及び転入児童生徒については、随時申請することができる。</p>	<p>○鹿屋市就学援助費支給要領 平成 20 年 4 月 1 日制定</p> <p>(申請)</p> <p>第 5 条 就学援助を受けようとする保護者は、就学援助申請書を児童生徒の在学する学校又は鹿屋市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に毎年度提出しなければならない。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、要保護者のうち生活保護法第 13 条に規定する教育扶助を受けている者については、申請書の提出を省略することができる。</p> <p>3 年度途中において新たに援助が必要となった者及び転入児童生徒については、随時申請することができる。</p>

## 鹿屋市就学援助費支給要領の一部改正について

### 1 内容

就学援助申請について、今までは紙での申請のみ受け付けていたが、令和 8 年度分よりオンライン（logo フォーム）での申請を可能とすることに伴う改正

### 2 変更理由

保護者の負担軽減及びペーパーレス化のため

### 3 変更点

【令和 7 年度分申請まで】

- ・新小学 1 年生

申請書を学校教育課へ提出（窓口持参又は郵送）

- ・在校生

申請書を学校へ提出（学校が取りまとめ、学校教育課へ使送便で提出）

【令和 8 年度分申請から】

電子機器より申請

または

従来の紙による申請

- ・新小学 1 年生の保護者が学校教育課の窓口まで持参する必要がない。
- ・郵送代が不要となる。
- ・学校側が申請書を取りまとめる必要がない。

### 4 就学援助申請の案内時期（令和 8 年度分）

	対象者	案内方法
10月下旬	新小学 1 年生	就学前健康診断にて 案内文書を配る
	新小学 1 年生 及び在校生	市ホームページ掲載
11月上旬	新小学 1 年生	入学説明会にて 案内文書を配ってもらうよう学校に依頼
1月上旬	在校生	学校にて案内文書を配ってもらうよう学校へ依頼
4 月	新小学 1 年生 及び在校生	学校にて申請漏れの方がいないか再度申請案内を依頼

※案内文書には、申請フォームのQRコードを記載

### 5 就学援助申請後の流れ（改正による変更なし）

5 月中旬～下旬：認定結果通知

→認定者リストを学校へ送付し、保護者へ認定結果通知を配布するよう学校へ依頼

※学校はここで認定者について把握する。

## 報告(2) 鹿屋市小・中学校英語弁論大会について

(学校教育課)

### 1 趣旨

- (1) 鹿屋市小・中学校英語弁論大会を実施することにより、小・中一貫した指導法改善及び児童生徒の英語への興味・関心を高め、英語教育振興に資する。
- (2) 身近な話題を取り上げ、ペアで協力してスキットを発表したり、自分の考えや気持ちを英語で発表したり、その内容について質問に答えたりすることによって、実践的コミュニケーション能力の育成に資する。

### 2 開催日 令和7年8月6日(水)

### 3 場 所 鹿屋市文化会館



### 4 内 容

- (1) 小学校の部：スキット (各小学校2名×23校) ※ 審査なし  
テーマ「私の宝物」
- (2) 中学校の部：プレゼンテーション (各中学校1名×11校)  
テーマ「平和のまち鹿屋市からの提言」


#### 【小中共通】

本年度は、戦後80周年の年です。平和のまち鹿屋市として、平和を意識した作品にしてください。本大会における平和とは、戦争だけにとらわれず、人権や家族、友だち、ウェルビーイング、大切な場所やもの等広い視点で捉えることとします。英語以外の授業で学習した内容(社会科、道徳科、修学旅行等)を関連付けることも可能です。併せて、本市作成資料の「かのや風土記」「永遠の平和を願って」等を積極的に活用して下さるようお願いいたします。

(抜粋) 実施要項

### 5 審査結果

最優秀賞	第一鹿屋中	城戸 有里乃
優秀賞	鹿屋東中	三原 陽菜
優良賞	細山田中	鵜瀬 健太郎



英語でスピーチする最優秀賞の城戸有里乃さん  
鹿屋市北田町の市文化会館

**中学生が英語で  
「平和への提言」**

鹿屋市小・中学校英語弁論大会が、市文化会館であった。中学生対象のプレゼンテーション部門は、戦後80年に合わせて「平和のまち鹿屋市からの提言」がテーマ。11校の発表者が、身ぶり手ぶりを交えて思いを語った。

最優秀賞になった第一鹿屋中学校2年の城戸有里乃さんは、真珠湾攻撃で撃沈された米戦艦アリゾナの記念館を2年前に訪ねた経験を基に発表。戦争は「アメリカにとつても悲惨」で、「平和への一歩は(他者を)理解すること」と訴えた。「難しい単語や発音が多かったけれど、先生の指導を受けながら練習して良かった」と話した。

大会は6日であった。その他の発表者も特攻や核兵器、鹿屋の戦跡などを題材に、自分なりの考えを伝えた。小学生が2人1組で英語の寸劇をする「スキット部門」は「私の宝物」がテーマで、23組が参加した。

(塩野雄梧)

南日本新聞(令和7年8月15日)

## 報告(3) 不登校児童生徒支援フォーラムについて

(学校教育課)

### 1 目 的

鹿屋市における、令和3年度までの不登校児童生徒数は、110人から120人程度で推移していたが、コロナ禍を経て、令和6年度には約250人となり、この3年間で約2倍強になった。この増加傾向の流れに歯止めをかけるべく、学校・保護者・関係機関等が連携を図り、不登校についての考え方やその対応の在り方を見直し、具体的な支援について理解を深める。

### 2 日時・会場

令和7年8月20日(水) 13:40~16:35 リナシティかのや3Fホール

### 3 参加者(R7:176人)

- ・ 市内学校教職員(82人) ・ 市外学校教職員(18人) ・ 保護者、一般(34人)
- ・ 関係機関職員等(42人): 来賓、行政、教育行政、医療機関、フリースクール 等

### 4 日 程

13:40 開会のあいさつ

13:50 市の不登校児童生徒への支援について

- ・ 相談員等の派遣 ・ 教育支援センター案内
- ・ 構成的グループエンカウンターの実施
- ・ 不登校児童生徒支援リーフレット配付 等

14:25 学校の取組事例発表

- ・ 寿北小学校 西 文子 教頭
  - ・ 第一鹿屋中学校 永野 佑樹 教諭
- チーム学校としての支援体制や、生徒指導部会等による情報共有の在り方、地域の協力のもとで校内支援ルームを運営する等、大変参考になる事例発表でした。



14:55 関係機関等の取組事例発表

- ・ パーソナルサービス支援機構 みんなの家「ふらっと」大倉 一真 氏
- フリースクールとして、子どもや保護者を支え、学校復帰につなげた事例を紹介することで、学校や家庭を支える関係機関等の必要性を伝える事例発表でした。

15:20 講演「学校に行けなくなった子ども達とのかかわり」

- ・ 講師 鹿屋体育大学教授 森 司朗 氏
- 学校として、保護者として、関係機関として、子供たちとの関わりに大切なことは何か、その時々の子供たちの心情を理解しながら、「待つ」ことの意味と重要性について考えることができました。

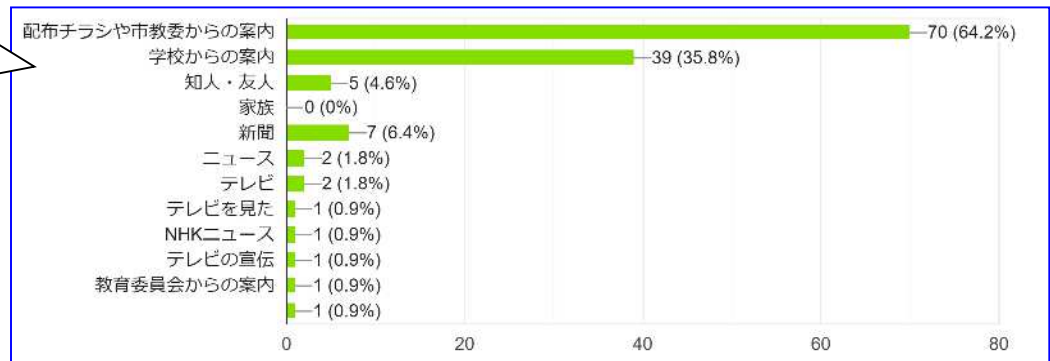


16:30 閉会のあいさつ



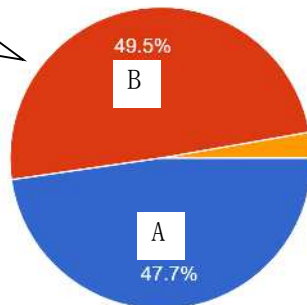
## 5 参加者の感想 ※事後アンケートの結果より

Q このフォーラムはどこで知りましたか？



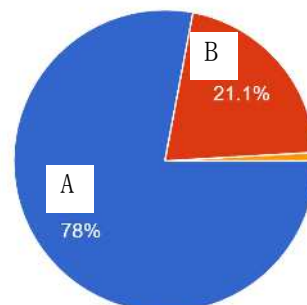
Q 本フォーラムの内容は分かりましたか？

- A ● 大変分かりやすかった  
B ● わかりやすかった  
● ややむずかしかった  
● とてもむずかしかった

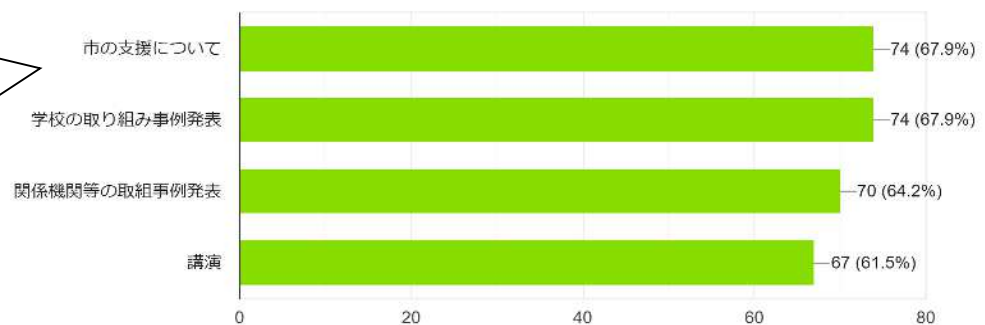


Q 不登校児童生徒支援の関心は高まりましたか？

- A ● とても高まった  
B ● まあまあ高まった  
● あまり高まらなかった  
● まったく高まらなかった



Q 内容でよかったものを教えてください。(複数回答可)



### 【 自由記述 】

- 今回参加して思ったのが、不登校になった直後もしくは予兆もない時期に、このようなフォーラムの内容を聞く機会があったら、不登校になりかけた時の気をつけること、初期の段階でのあれこれを知ることができて、もしかしたら不登校にならずに済んだのかな…と思いました。今回参加できて良かったです。
- 不登校が社会問題になっていて、自分の住む鹿屋市の現状や支援などを知りたいと思い参加しました。学校や関係機関の努力が伝わりました。原因は様々ですが、一番は家庭での関わりだと思います。(我が子が自立できていないから自信がない)。また開催してほしいです。
- 放課後等デイサービスで、不登校支援を行っているが、児童、保護者、学校、各関係機関との信頼関係を構築し「面」での支援が大事と改めて感じた。支援内容を、改めて職員と検討し、今後につなげていきたいと思っています。
- 我が子が不登校になって、生活が変わりました。悩んでいるときに、テレビでこの会を知り、鹿児島市等の中心部ではない、鹿屋市で開催されることに驚きと嬉しい気持ちになって参加しました。多くの勇気をいただきました。今日帰って子どもと明るい話をしたいです。
- 鹿屋市の取組を詳しく知ることができて、大変参考になった。学校と関係機関（フリースクール等）との連携がとても有効に機能しており、市の何とかしたいという情熱がそれぞれに波及しているように感じた。参考にしていきたい。
- 鹿屋市としてこの会を企画することに強い気持ちを感じて、興味を持って参加した。現在悩んでいる子供や保護者のためにも、もっと関係機関を頼ってほしいと強く思う。私たちにできることを前向きに考えられる一日になりました。

## 報告(4) 第13回キッズチャレンジフェスタの実施について

(学校教育課)

### 1 目 的

情報ビジネス科等を中心とした生徒が、日頃の学習成果を地域の子どもたちに体験活動を通して還元することにより、地域貢献の意識を深めさせるとともに、協働力と共感力を磨く生徒の育成を目的として、地域に根ざした貢献活動を行う。

2 開催日時 令和7年8月7日(木) 9時30分～12時30分

3 会 場 鹿屋女子高等学校(本館)

### 4 参加形態

情報ビジネス科 1年 4ブース・2年 4ブース 生活科学科 5ブース  
普通科 2ブース 卓球部、書道部等 4ブース (合計: 19ブース)

### 5 内 容 各種ものづくり教室など

#### (1) 予約講座

素敵な布マジック	ふしぎ風船チャレンジ
マシュマロクランチ	水中エレベーター
ハーバリウム	ミサンガ
サンドイッチ屋さんごっこ	お習字教室
マグネット工房	パタパタカード

#### (2) 自由に参加できる講座

スクイーズ (整理券配布)	スノードーム (整理券配布)
缶バッジ	アロマ製作
バスボム	スライム 等

6 参 加 者 小学生・保護者等 約700名 (未就学児は保護者同伴で参加)

### 7 参加者の主な感想 (アンケート結果)

- どちらの教室の高校生も優しく丁寧に教えてくださり、安心できました。楽しかったです!
- 楽しくできました。ちゃんと作り方を教えてくれたり、楽しく教えてくれたからまた来たい。
- 付き添ってくれていたのも、質問とかしやすかった。
- 色んなものを楽しく作業できた。とても楽しくて、みんな優しかったのでまたしたいです。
- 交流ができて楽しかった。けど、予約なしの教室が少なかった。
- 難しいところや、分からなかったところをしっかりと教えてくれました。
- とっても優しく声かけしてもらいました。みんな優しくてシャキシャキ素敵です!
- 作っているときに、色々褒められたりすることがよかった。できないところはやってくれて、とても良かったです。
- 説明が分かりやすく作業しやすかった。
- 趣向、工夫盛りだくさんの体験教室等はもちろんのこと、職員や生徒の皆さんで駐車場整理もしていただき、本当にありがたいイベントです☆グラウンドを利用した駐車場もとても感謝です!ありがとうございました。(保護者)
- 3人目は予約できていなかったのですが、上の子と一緒に体験させてもらえました。柔軟に対応していただきありがとうございました。(保護者)
- 種類が豊富で親子でわくわくした。子供たちが目をキラキラさせて楽しんでいたので、親としても楽しかった!(保護者)
- 子供に合わせて丁寧に教えてくれた。(保護者)



## 8 イベント実施風景



(お習字教室)



(マシュマロランチ)



(水中エレベーター)



(スライム工房)



(マグネット工房)



(ハーバリウム)



(ふしぎ風船チャレンジ)



(パタパタカード)

## 報告(5) 鹿児島県ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会について

(生涯学習課)

### 1 趣旨

子ども会のジュニア・リーダーや高校生クラブ、ボランティアグループ等で活躍している中・高校生が一堂に集い、活動を通して相互の交流と親睦を図り、地域社会でリーダーとして活動する中・高校生に資する。

### 2 主催

鹿児島県子ども会育成連絡協議会

### 3 主管

大隅地域子ども会育成連絡協議会

### 4 日程・場所

令和7年8月23日(土)～24日(日) 1泊2日  
国立大隅青少年自然の家

### 5 実行委員

13人(鹿屋市7人、志布志市2人、東串良町2人、肝付町1名、南大隅町1名)  
※大隅地域の中学生、高校生で構成、3月から6回の実行委員会を開催

### 6 参加者

56人(鹿児島市2人、鹿児島6人、南薩7人、姶良・伊佐4、北薩7人、熊毛9人、  
大島6人、大隅15人(うち鹿屋市11人))

### 7 活動内容

アイスブレイク、KYT研修、ナイトハイク、班対抗スポーツ大会

### 8 事業の実施風景



開会式(実行委員の紹介)



KYT研修

### 9 参加者の感想

- ・他の団体へ積極的に話しかけ、お互いの活動を共有し、大きな刺激を受けた。
- ・この大会で得た学びを活かし、今後の活動に反映させ、魅力的なクラブにしたい。

### 10 開催地

令和6年：北薩、令和7年：大隅、令和8年：鹿児島、令和9年：熊毛



## 報告(6) 第7回鹿屋市高校生ビブリオバトル大会実施について

(生涯学習課)

### 1 目的

ビブリオバトルを開催することで、高校生や小中学生の読書への関心を高め、読書活動を推進する。

### 2 ビブリオバトルとは

高校生自ら読んで面白いと思った本の魅力を観覧者に5分で紹介。発表が終わったら紹介された本について参加者が質疑応答をし、観覧者自身が一番読みたくなった本に投票します。最多得票数の本が「チャンプ本」となる。

### 3 開催日時・場所

令和7年8月24日(日)13時30分から  
鹿屋市市民交流センター (リナシティかのや)

### 4 発表者(バトラー) ※鹿屋市内の高等学校6校から各2人募集

[出場者数] 4校6人 (前年度比 -3)

鹿屋高校 1人、鹿屋女子高校2人、串良商業高校1人、鹿屋農業高校2人

[来場者数] 50人 (前年度比 +4)

### 5 事業の実施風景

	<p><b>優勝者</b> 鹿屋女子高校2年 ありむら さやね 有村 咲音</p> <p><b>チャンプ本</b> 「人間失格」</p>
	<p><b>バトラー集合写真</b></p> <p>哲学や生物、文学など幅広いジャンルから本が選出されており、本の魅力が改めて感じられる内容になっていた。出場者は昨年より少なかったものの来場者は昨年より多く、ビブリオバトルへの認知度や関心度が高まりつつあるのではないかと思います。</p>

### 6 その他

ビブリオバトルで紹介された本は、図書館にて展示、紹介を行う。

## 報告(7) 鹿屋市自主文化事業「トリックアート展」について

(生涯学習課)

### 1 概要

リナシティかのや ギャラリーにて、だまし絵をもとに「見て、作品の中に入れて自由に写真を撮って遊べる」体験・参加型の子どもから大人まで誰もが楽しめる展覧会を開催したものの。

2 会 期 7月19日(土)～8月3日(日)(16日間)

3 参加者数 合計 4,345人(最大入場数 650人/日)

### 4 内 容

- トリックアート展
- トリックアートワークショップ
  - ・開催日：7月26日(土)、27日(日)
  - ・参加者数：7月26日(土)20人・7月27日(日)26人 計：46人
  - ・内 容：「ふしぎな絵」作り

### 5 当日の状況 会場



### ワークショップ



### 6 その他(中央地区商店街との関連イベント)

中央地区商店街との関連イベントとして、クイズウォークラリーを実施。

#### ○ 参加店舗

- ・小野弓道具店
- ・美顔工房クキタ
- ・とおや
- ・KITADA SARUGGA
- ・小松食堂
- ・杵屋モンドール
- ・FOOD STORE Hacchi

#### ○ 賞品等

- ・全問正解者：オリジナルランプ
- ・参加賞：オリジナルポストカード



## 報告(8) 第3回大隅平面アート展(共催事業)について

(生涯学習課)

### 1 概要

市民や美術愛好家と、制作する喜びや鑑賞する喜びを味わってもらうことを目的として、大隅美術協会主催の大隅平面アート展が開催されたもの。

2 開催期間 8月24日(日)～8月31日(日)

3 来場者数 582人

### 4 内容

○ 出点数 166点(絵画96点、写真48点、工芸・手工芸22点)

○ 入賞作品 かのやサポーター賞：千足 みえ 784日・・・一日一絵(洋画)

大隅美術協会賞：横山 貴史 Deep sea moonlight(絵画)外8点

廻 美香 笑顔ねこ

下出水 和子 真っ盛りⅡ

西留 利義 日常の光景(Ⅰ)

西口 純一 寒椿

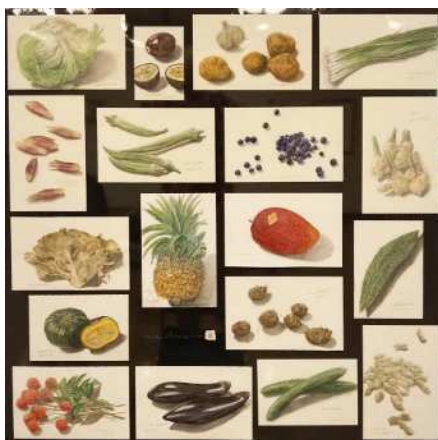
長崎 雄二 清き水

税所 マリ 春好日(写真)

千足 健吾 平和の願う(工芸)

中垣内 裕子 大切な思い出

かのやアートサポーター賞



「784日・・・一日一絵」 千足 みえ

大隅美術協会賞



「真っ盛りⅡ」 下出水 和子

### 5 会場の様子





## 報告(9) 平和祈念コンサート(共催事業)について

(生涯学習課)

コーラスフェスティバル実行委員会が主催する「平和」をテーマにした、子どもから大人まで相互に関わりあって作り上げる市民参加型コンサートが開催されました。

1 日 時 9月7日(日) 開場 13:00～ 開演 13:30～

2 来場者 250人、出場者:230人

3 入場料 無料

### 4 内 容

○ 題 目 戦後80年 平和祈念コンサート

○ 出演団体 鹿屋女子高等学校音楽部、かのや女声コーラス、輝北混声合唱団  
コールはな、CORO・PACE、寿北小学校合唱団、信愛コーラス  
フォルテシモ、ふれあいコーラス、ローズかのや、Liquor 薔薇  
鹿屋市少年少女合唱団、鹿屋市民合唱団、Felice なのはな計14団体

○ 賛助出演 かのやオーケストラ

### 5 会場の様子



鹿屋市少年少女合唱団



寿北小学校合唱部



鹿屋女子高校音楽部



全体合唱

## 1 目的

縄文時代や弥生時代などの古代の人々が作っていた土器を、当時の作成方法を用いて作ることで、当時の生活状況やもの作りの大変さを学びながら郷土愛の醸成を図る。

## 2 開催日時及び場所

### (1) 1日目

○令和7年7月21日(月)祝日 14:00～16:00

○リナシティかのや 芸術文化学習プラザ2階 アトリエ(工芸)

### (2) 2日目

○令和7年8月11日(月)祝日 9:00～12:00

○文化会館駐車場→大塚山公園(串良町)→串良歴史民俗資料室  
→文化会館駐車場(バス使用)

## 3 対応職員

文化財センター職員5名

## 4 参加者

1日目: 令和7年7月21日(月)祝日 合計31人

市内小学校 3年生6人 4年生10人 5年生4人 6年生6人  
中学生 1年生3人 2年生1人 3年生1人

2日目: 令和7年8月11日(月)祝日 9:00～12:00 合計29人

市内小学校 3年生6人 4年生10人 5年生4人 6年生4人  
中学生 1年生3人 2年生1人 3年生1人

## 5 内容

### (1) 1日目

ア 粘土を使って土器の原型を作る(完成後乾燥させる)

イ 勾玉作り

### (2) 2日目

ア 火おこし

イ 土器の野焼き(自分たちでおこした火を使って乾燥した土器を焼く)

ウ 串良歴史民俗資料室の見学

## 6 所見

応募者を増やすため、①休日での開催、②出校日前に終わる日程、③対象枠の拡大、④応募のデジタル化を行ったところ例年より多くの募集があった。実施後の保護者アンケートでも日程や応募方法に満足の声がほとんどであった。内容についても満足度は非常に高く、「次回も参加したい」「古墳に行ってみたい」(参加者)、「冬・春休みでも体験を」「色々な体験があればよい」(保護者)との意見もあった。



## 7 参考写真

### 活動写真 1日目 【勾玉作り】



### 活動写真 1日目 【土器づくり】



### 活動写真 2日目 【火起こしチャレンジ】



### 活動写真 2日目 【乾燥させた土器の野焼き及び資料室見学】





お知らせ① 市内小・中学校及び鹿屋女子高校の運動会・体育大会の日程について

(学校教育課)

						令和7年9月12日 学校教 育 課	
令和7年度鹿屋市運動会・体育大会 市教委巡回計画 (案)							
開催日		学校名	開始時刻	～	終了時刻	延期の場合	教育長 市教委巡回
5月25日(日)	9	西原台小学校	8:45	～	14:00	5月26日(月)	○ 市来
	11	野里小学校	8:30	～	14:20	5月26日(月)	○ 市来
	12	大始良小学校	9:00	～	15:00	5月26日(月)	○ 市来
9月6日(土)	201	鹿屋女子高校	9:00	～	15:00	9月8日(月)	○ 小野課長、東條
9月14日(日)	101	鹿屋中学校	8:30	～	15:30	9月15日(月)	幡生係長
	103	第一鹿屋中学校	8:40	～	14:20	9月15日(月)	山下
	105	大始良中学校	9:00	～	15:00	9月15日(月)	稲本、小野課長、横山
	108	輝北中学校	9:00	～	14:15	9月15日(月)	小野課長、横山
	112	吾平中学校	8:40	～	15:00	9月16日(火)	東條
9月28日(日)	2	祓川小学校	9:00	～	14:20	9月29日(月)	横山
	10	花岡小学校	8:40	～	15:00	9月29日(月)	○ 市来、川原
	106	花岡中学校					
	109	串良中学校	8:40	～	14:00	9月29日(月)	○ 川原
	110	細山田中学校	8:30	～	14:30	9月29日(月)	吉元係長
10月5日(日)	20	上小原小学校	8:40	～	14:30	10月6日(月)	○ 稲本
	111	上小原中学校					
10月19日(日)	1	鹿屋小学校	8:45	～	14:50	10月20日(月)	○ 下井田
	3	東原小学校	8:40	～	14:35	10月20日(月)	山下
	13	南小学校	8:45	～	14:00	10月20日(日)	吉元係長
	14	西俣小学校	9:00	～	15:00	10月20日(月)	横山
	18	串良小学校	8:15	～	14:30	10月21日(火)	内山係長
	21	吾平小学校	8:35	～	14:30	10月20日(月)	稲本
	23	下名小学校	8:30	～	14:00	10月20日(月)	幡生係長
	102	鹿屋東中学校	8:50	～	14:40	10月20日(月)	○ 柿、下井田
10月26日(日)	4	笠野原小学校	8:30	～	15:00	10月27日(月)	幡生係長
	5	寿小学校	9:20	～	15:30	10月27日(月)	○ 柿、小野課長、東條
	6	寿北小学校	8:30	～	14:30	10月27日(月)	下井田
	8	西原小学校	8:30	～	14:00	10月27日(月)	山下
	15	高隈小学校	8:35	～	14:30	10月27日(月)	市来
	16	大黒小学校	8:50	～	14:10	10月27日(月)	市来
	17	輝北小学校	8:30	～	14:30	10月27日(月)	吉元係長
	19	細山田小学校	8:40	～	14:00	10月27日(月)	江口係長
	22	鶴峰小学校	9:00	～	14:00	10月27日(月)	○ 小野課長、東條
	104	田崎中学校	8:30	～	15:00	10月27日(月)	宇井課長
	107	高隈中学校	8:40	～	14:10	10月27日(月)	市来
11月9日(日)	7	田崎小学校	8:45	～	14:30	11月10日(月)	川原

「地域で支える家庭教育推進事業」  
令和7年度鹿屋市家庭教育講演会

毎日の「声かけ」で  
子どもが変わる！！

学ぶ力を引き上げ、幸せな人生も歩める子になる

『マジックワード』



いしだ かつのり

日時 10月4日 土

10:00～11:40

講師 石田 勝紀 氏 (教育デザインラボ 代表理事)

～講師プロフィール～

1968年、横浜市生まれ、20歳で学習塾を起業。これまで4500人以上の生徒を直接指導する傍ら、講演会、セミナーなどを通じて5万人以上の子どもたちを指導。「日本から勉強嫌いな子をひとり残らずなくしたい」という信念のもと、全国各地で講演会や研修会を年間400回以上主催し、『東洋経済オンライン』での人気教育連載コラムは、累計1.3億PVを記録している。  
主な著書に『勉強しない子には「1冊の手帳」を与えよう！』『子どもの自己肯定感を高める10の魔法のことば』『小学生の勉強法』『子どもを育てる7つの原則』など、31冊の書籍を出版。

日 時 令和7年10月4日(土) 10:00～11:40  
(受付 9:30～)

会 場 鹿屋市文化会館

対 象 保育園・幼稚園・こども園、小・中・高等学校、  
特別支援学校の保護者・家庭教育に関心のある方  
(講演会場にお子様の同伴はできません。)

申 込 み 右記の申込みフォームまたは電話で  
お申込みください。

申込期限 令和7年9月26日(金)

問合せ先 鹿屋市教育委員会 生涯学習課  
☎ 0994-31-1138

✉ syougaku@city.kanoya.lg.jp

無料!



<https://logoform.jp/form/UH2b/1178254>

車で来られる方へ

車で来られる方は、なるべく乗り合わせてお越しください。

託児について

2歳以上の未就学児のお子様を対象です。必要な方は、申込時に入力してください。  
当日は、お子様の飲み物と着替えをご持参ください。



知っていますギョ？

あなたは「鹿屋」を

かのやカンクロウ

かのやカンバチロウ

かのやカンナナ

# かのやふるさと検定

中込期限 **10月24日(金)**

試験日 **11月16日(日)**

10:00～【会場】鹿屋女子高校

今年で2回目となった「かのやふるさと検定」。何気なく暮らすこのまちのことは、知っているようで意外と知らないもの。新たな発見は、きっと鹿屋で暮らす私たちの毎日を豊かにしてくれるはず。90点以上獲得した人は1級が授与され、3回1級に輝くと「かのやマスター」の称号を得ることができます！めざせ！かのやマスター！

市生涯学習課 TEL 0994-31-1138

## かのやふるさと検定

●日時 11月16日(日) 10:00～

●場所 鹿屋女子高校

●受検区分等

受検区分	受検資格	検定時間	検定方法
一般の部	小学5年生以上	60分	50問5肢択一
ジュニアの部	小学5・6年生・中学生	20分	20問3肢択一

●出題範囲 「かのや風土記」を基本とし、その他鹿屋市に関するタイムリーな時事等から出題

※かのや風土記は、市ホームページ・かのや市電子図書館で閲覧可能。モノクロ版(1,500円)の販売有り。

●受検料 無料

●申込 10月24日(金)までに市生涯学習課、各地区学習センターに申込書を提出又は専用フォームから申し込み

※申込書及びかのや風土記モノクロ版は市生涯学習課、各地区学習センターに有り



## 東川隆太郎先生による「かのやふるさと検定」講座



「かのやふるさと検定」の受験対策として、講師の東川隆太郎さんによる楽しいトークを交えつつ、「かのや風土記」を勉強しませんか？

●日時・内容

日時	内容
9月5日(金) 19:00～21:00	公民・地理
9月12日(金) 19:00～21:00	歴史
9月19日(金) 19:00～21:00	文化・文化財
9月26日(金) 19:00～21:00	まちづくり・人物

●場所 リナシティかのや アトリエ(絵画)

●対象者 かのやふるさと検定で一般の部を受検する人

●定員 各25人 ※応募者多数の場合は抽せん

●講師 東川 隆太郎氏(NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事)

●受講料 無料

●申込 各実施日の1週間前までに市生涯学習課に連絡又は専用フォームから申し込み



歴史と芸術あふれるウクライナより、若さと気品に満ちたバレエ団が来日!

キーウ・クラシック・バレエ

パリ、ロンドン、ローマを魅了した、ワガノワメソッド光る確かな舞踏!

名場面だけを贅沢に集めた豪華ガラ公演! 「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」から

チャイコフスキー

夢の3大バレエ

～名場面集～

4歳以上 入場可

令和7年度鹿屋市自主文化事業

2025 年

10月11日(土) 鹿屋市文化会館

開場 14:30 開演 15:00

料金(税込): 全席指定 SS席 5,000 円 S席 4,500 円 A席 2,500 円

※当日は 500 円増し ※4 歳以上有料。3 歳以下は入場不可。

※車椅子席をご希望の場合は、事前に鹿屋市文化会館までお問い合わせください。  
※ご来場にあたっての注意事項の詳細等は鹿屋市文化会館のホームページをご覧ください。

■主催: 鹿屋市教育委員会 ■企画・制作: 鹿屋島音協、(株)まちづくり鹿屋

■前売券販売所 鹿屋市文化会館、リナシティかのや 3 階売店

■電子チケット(Ticket)

QRコードより電子チケットをお買い求めいただけます。  
スマートフォンやパソコンからチケットをご購入いただけます(座席選択可)。  
お支払方法はクレジットカードまたはコンビニ払い(別途支払手数料が必要)となります。公演中上場の場合は、チケット購入後の返金、交換等はできません。チケット紛失防止のため、会費登録にご協力ください。

■駐車場  
座席数に対して駐車場台数が不足しております。お乗り合わせや送迎等での来場にご協力をお願いいたします。

7月19日(土) 11:00 より 前売券発売開始!



お問い合わせ: 鹿屋市文化会館 0994-44-5115